

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 閉会中継続調査事件

(1) 函館駅前・大門地区の活性化に向けた公共施設整備について

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、8月18日開催の委員会で、再開発事業の整備状況を見ながら協議を行う旨を確認したところだが、現在、正副において、理事者と調整を行っているところであるので、準備等が整い次第、本件とは別に、適宜対応してまいりたいと思う。
- ・ そこで本日の進め方だが、本日はこれまで皆様からいただいた意見を踏まえ、正副で作成した調査結果（案）をお示しし、それについて皆様から御意見を伺いながら、最終的な調査結果の協議を行いたいと思うが、いかがか。（異議なし）
- ・ それでは、そのように進めさせていただく。
- ・ 所管事務調査結果（案）を御覧願う。まず、私から資料の説明をさせていただく。
- ・ 資料説明：函館市議会経済建設常任委員会所管事務調査結果（案）（経済建設常任委員会正副委員長調製）
- ・ 資料の説明は以上だが、各委員からこの件に関して何か御発言はあるか。

○斉藤 佐知子委員

- ・ 今回の調査事件は、函館駅前・大門地区の活性化に向けた公共施設整備についてというテーマで調査をしたので、4の調査のまとめはこれでいいと思うが、まさに（1）のイの「関係部局との連携が重要である」ということで、公共施設のこのことに関しては――駅前・大門については、経済部、都市建設部が関係している。今回、この調査事件は、流れとしては時間的にも結構詰まっているのかと。市民説明会も開いたり、私たちもこのようにしたが、先ほど委員長が言ったように、現在どうなっているのかがさっぱり見えないし、この調査事件をまとめるのはいいと思うが、年内の12月中には進捗状況がどうなっているのかきちんと聞くべきだし、その話を聞いたら、公共施設が入るのかどうか、どの辺まで話が、どういうふうになるか分からないので、そこは正副できっちりと関係部局と話をして、年内には早々に委員会に状況を示してほしいということをお願いして、私はこれはこれでまとめていいと思う。

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 冒頭でも話したとおり、今、進捗状況等を説明できるような状態になるように、正副と理事者とで話し合っているのですが、私の考えとすれば、議会中の常任委員会の際に説明等を聞きながらやりたいと思っている。調査事件としては、テーマの中でまとめることであるので、再開発事業はまた別の形で意見や説明を聞きながら進めていきたいと思うので、御協力よろしく願います。

○工藤 篤委員

- ・ 今回、2か所に行ってきた。そのことについてもいろいろ議論したが、それが具体的にこのまとめの中に入ってないというように思った。ということは、2か所に行ったが、それがどうも函館市に導入することについて、難しいという気持ちが皆さんの中にあっただのかと、それがこのまとめの中で、ある意味で固有名詞も出ない形になったのかというふうに私は思った。それはそれで、そうなのかというふうに私も思うのでいいが、最後の(2)のウの「公共施設については、その役割や機能などを考慮し」云々となっている。それはそれでいいが、公共施設を集約するのかどうか、その辺のところをもう少し我々も考えなければならぬと思う。具体名では出てきたが、それがいいか悪いかは、行政の方もまだはっきりとした方針を出していない。

○委員長(小林 芳幸)

- ・ 集約というのは、図書館や老人福祉センターのことか。

○工藤 篤委員

- ・ そうだ。

○委員長(小林 芳幸)

- ・ その件については、調査とは別と私は考えているので——もちろん図書館にしても老人福祉センターにしても経済建設常任委員会に関わる所管ではないので、集約については、経済建設常任委員会での議論は難しいというのはあるが、この調査の中では、それは別として、ここに入れる公共施設の話だけで進めているので、御理解いただきたい。

○工藤 篤委員

- ・ 委員長の話は十分分かる。
- ・ しかし、これはこれといっても、いずれにしても関連性が出てくるし、(1)のイに「関係部局などとの連携が重要」と記載されているが、まさしく、そういう意味ではトータルな議論をする場が必要かと思うので御配慮願う。
- ・ もう一点、集約の方向に行くのかというような流れを見ているが、ここの地区が活性化するためにはそれも一つの方法だと思うが、集約される側が——その各地域の当該団体なり——むしろ逆に活性化がそがれるというふうに思うから、ぜひその辺の視点も中に入れながら、そういう協議の場なり、そういう方向性が見いだせればいいというふうに、意見として出しておきたい。

○委員長(小林 芳幸)

- ・ 分かった。
- ・ まとめの中にも書いているが、「市民や議会に対して丁寧に説明すること、市民や議会および有識者などの意見も聞きながら慎重に進めることが重要である。」ということで、委員会からこういう形で入れさせてもらっているので、今後、再開発事業の説明等を聞きながらその辺も議論していきたいと思う。

○工藤 篤委員

- ・ 分かった。

○紺谷 克孝委員

- ・ まとめの中で、2都市——パレットやシリウスを見てきた上での調査のまとめだと思うが、前回の経済建設の委員会でもしゃべったが、2都市と比較して——どちらかといえば2都市とも交通の要

衝にあって人流はすごくある地域で、人口も増えるか横ばい状態で、それに比較して函館市は人口減少が著しく進んでおり、同時に函館駅前も、市内全体から見れば一番人流があるところだと言いきつい状況が生み出されてきている。そういう点で、この2都市以上に、市民が望む、行きたいとなる、そういう場所を考えないとなかなか難しいと思う。したがって、2都市と同じような内容であれば、なかなか人流が促進される状況にないということで、一定の困難さがあると思う。そういうことを少し書いてほしい。一般的に、2都市のパレット、シリウスの取組よりさらに強く、重視してそういう点をやらないとなかなか望むような公共施設ができないのではないか。棒二森屋も撤退し、商店街も成功してないという現実があるので、どういう文言になるかは別として、そういう視点が必要ではないか。

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 今、紺谷委員がおっしゃった内容は、正副の方もそのような形で考えているので、視察先の形を参考として、あのままやってはどうかという話は考えていないので、その内容をまとめた事業の推進のところに——私は、その思いをここに書いたつもりでいるが——人の流れを生み集客が見込まれるなど大門地区のにぎわい創出に寄与するほか、地域経済の活性化にも有効なものと考えられるが、整備にあたっては様々な意見を聞きながらということはこちらの方に書かせてもらっているので、このような表現でやらせてもらえればと思うが、よろしいか。

○紺谷 克孝委員

- ・ そういう精神が入っているということであれば。
- ・ 斉藤委員もおっしゃったとおり、スケジュールが随分遅れている。4月の2回にわたる市民説明会以降ほとんど、今後のスケジュールを含めて提案されていないということを非常に危惧している。
- ・ 説明会以降、各施設を利用している人に聞き取りをしていると聞いている。利用者の意見を聞くとか委託されている業者の話を知るとか、そういうことをされていると聞いている。それは、所管が違うということもあるかもしれないが、全体としてまとめていくのは経済部だから、まったく切り離すということはないと思う。例えば、利用者と懇談して、その結果がどうだったかというのは、五、六、七月あたりでつかんでいると思う。それも全然公表されていないということになると、この中にもあるように、議会に丁寧に説明して進めるということから見ると外れていると思う。だから、そういう点で、行ったことはあると思うので、それはきちんとその都度報告していただきたい。このまとめの中でもそういうことを言っているので、その点は強く求めていただきたい。
- ・ 委員長も前回の時は、委員会の審議は理事者のスケジュールと並行させて審議していかなければ駄目だというふうにおっしゃっている。しかし、並行する相手がいないから審議が進まないということが現実だと思う。だから、そういう点をもう少し正副で、経済部や関連部局を含めて、経過なりを——先が見えなくても経過だけは分かるわけで、なぜそうなっているのかの説明も必要だと思うので、ぜひそういう点を正副で理事者に強く求めていただきたい。

○委員長（小林 芳幸）

- ・ ほかに御意見はあるか。（なし）
- ・ 本件調査については、調査結果（案）をもって最終のまとめとさせていただきます、以上をもって本件調査を終了したいと思うが、いかがか。（異議なし）

- それでは、本件調査を終了する。
 - なお、調査結果については今後の取組の参考としていただくため、理事者に配付したいと思うので御承知おき願う。
 - 閉会中に委員会が行った調査については、次の定例会で報告することとなるが、委員長の報告文については、委員長に一任願いたいと思う。これに御異議あるか。（異議なし）
 - 議題終結宣告
-

2 その他

○委員長（小林 芳幸）

- 2のその他だが、各委員から何か御発言あるか。（なし）
- 散会宣告

午前10時20分散会